

NVDA 2015.3jp コマンド一覧表 (簡易版)

基本的なNVDAコマンド

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
読み上げ停止	Ctrl	Ctrl	読み上げを停止します。
読み上げ一時停止	Shift	Shift	読み上げを一時的に停止します。音声エンジンによっては、もう一度押すと停止した位置から読み上げを再開できるものもあります。
NVDAメニュー	NVDA+N	NVDA+N	NVDAメニューを表示します。NVDAの設定、ツール、ヘルプなどがあります。
読み上げモード切り替え	NVDA+S	NVDA+S	読み上げモードを読み上げ、ビープ、オフの間で切り替えます。
入力ヘルプモードの切り替え	NVDA+1	NVDA+1	入力ヘルプモードが有効の時にキーが押されると、そのキーの名称と対応するNVDAコマンドを説明します。
NVDAの終了	NVDA+Q	NVDA+Q	NVDAを終了します。
次のキー入力を渡す	NVDA+F2	NVDA+F2	次に押されるキーがNVDAのキーコマンドであっても、現在アクティブなアプリケーションに渡すようにNVDAに指示します。
アプリケーションごとのスリープモードの切り替え	NVDA+Shift+S	NVDA+Shift+Z	スリープモードは現在のアプリケーションに対してすべてのNVDAコマンド、音声読み上げ及び点字出力を無効にします。もう一度このコマンドを押すとスリープモードはオフになります。

システム情報の報告

名称	キー	説明
日付と時刻の報告	NVDA+F12	1回押すと時刻を報告し、2回押すと日付を報告します。
電源状態の報告	NVDA+Shift+B	AC電源を使用中や充電の割合といったバッテリーの状態を報告します。
クリップボードテキストの報告	NVDA+C	存在する場合、クリップボード内のテキストを報告します。

フォーカスとウィンドウ

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
現在のフォーカスの報告	NVDA+Tab	NVDA+Tab	フォーカスのある現在のオブジェクトを報告します。2回押すとスベルを読み上げます。
タイトルの報告	NVDA+T	NVDA+T	現在アクティブなウィンドウのタイトルを報告します。2回押すとスベルを読み上げます。3回押すとクリップボードにコピーします。
アクティブウィンドウの読み上げ	NVDA+B	NVDA+B	現在アクティブなウィンドウ内のオブジェクトを読み上げます (ダイアログの操作で便利です)。
ステータスバーの報告	NVDA+End	NVDA+Shift+End	みつかった場合にステータスバー情報を報告します。また、ナビゲーターオブジェクトをその場所に移動します。2回押すとスベルを読み上げます。

キャレットによる移動

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
すべて読み上げ	NVDA+下矢印	NVDA+A	現在のキャレット位置から進みながら読み上げます。
現在行の読み上げ	NVDA+上矢印	NVDA+L	現在キャレットのある行を読み上げます。2回押すと現在行のスベルを読み上げます。
選択中テキストの読み上げ	NVDA+Shift+上矢印	NVDA+Shift+S	現在選択されている任意のテキストを読み上げます。
次の文を読み上げ	Alt+下矢印	Alt+下矢印	キャレットを次の文に移動してその文を読み上げます。(Microsoft Word および Outlook)
前の文を読み上げ	Alt+上矢印	Alt+上矢印	キャレットを前の文に移動してその文を読み上げます。(Microsoft Word および Outlook)

テキストの確認

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
レビュー内の前の文字に移動	テンキー1	NVDA+左矢印	レビューカーソルをテキスト内の現在行の前の文字に移動します。
レビュー内の現在の文字の報告	テンキー2	NVDA+ピリオド	テキスト内の現在行のレビューカーソル位置の文字を報告します。2回押すとその文字の説明や例を報告します。3回押すと10進数や16進数による文字コードを報告します。
レビュー内の次の文字に移動	テンキー3	NVDA+右矢印	レビューカーソルをテキスト内の現在行の次の文字に移動します。

テキストの確認（続き）

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
レビュー内の行頭に移動	Shift+テンキー1	NVDA+Home	レビューカーソルをテキスト内の現在行の行頭に移動します。
レビュー内の行末に移動	Shift+テンキー3	NVDA+End	レビューカーソルをテキスト内の現在行の行末に移動します。
レビュー内の前の単語に移動	テンキー4	NVDA+Ctrl+左矢印	レビューカーソルをテキスト内の前の単語に移動します。
レビュー内の現在の単語の報告	テンキー5	NVDA+Ctrl+ピリオド	テキスト内のレビューカーソルがある位置の単語を報告します。2回押すと単語のスペルを報告します。3回押すと、文字の説明を用いて単語のスペルを報告します。
レビュー内の次の単語に移動	テンキー6	NVDA+Ctrl+右矢印	レビューカーソルをテキスト内の次の単語に移動します。
レビュー内の前の行に移動	テンキー7	NVDA+上矢印	レビューカーソルをテキストの前の行に移動します。
レビュー内の現在行の報告	テンキー8	NVDA+Shift+ピリオド	レビューカーソルのある現在行を報告します。2回押すと行のスペルを報告します。3回押すと文字の説明を用いて行のスペルを報告します。
レビュー内の次の行に移動	テンキー9	NVDA+下矢印	レビューカーソルをテキスト内の次の行に移動します。
レビュー内の最上行に移動	Shift+テンキー7	NVDA+Ctrl+Home	レビューカーソルをテキストの最上行に移動します。
レビュー内の最下行に移動	Shift+テンキー9	NVDA+Ctrl+End	レビューカーソルをテキストの最下行に移動します。
レビューですべて読み上げ	テンキープラス	NVDA+Shift+A	レビューカーソルの現在位置から進みながら読み上げます。
レビューカーソルからコピー	NVDA+F9	NVDA+F9	レビューカーソルの現在位置からテキストをコピーします。実際のコピーはコピー終了位置を指定するまで行われません。
レビューカーソルまでコピー	NVDA+F10	NVDA+F10	レビューカーソルからコピーで指定したレビューカーソル位置から、現在レビューカーソルのある位置までをコピーします。このキーを押すと、テキストがWindowsクリップボードにコピーされます。
書式情報の報告	NVDA+F	NVDA+F	レビューカーソル位置のテキストの書式情報を報告します。

ブラウザモード

名称	キー	説明
ブラウザモード/フォーカスモードの切り替え	NVDA+スペース	ブラウザモードとフォーカスモードを切り替えます。
フォーカスモードの終了	Esc	自動的にフォーカスモードが有効になっていた場合、ブラウザモードに変更します。
ブラウザモードドキュメントの更新	NVDA+F5	現在のドキュメントコンテンツを再度読み込みます。(ドキュメントの一部が欠落しているような場合に有効です。Microsoft Word および Outlook では利用できません)
検索	NVDA+Ctrl+F	入力した文字列を現在のドキュメント内で検索するためにダイアログを開きます。
次を検索	NVDA+F3	同じ検索文字列でドキュメントの後方に向かって検索します。
前を検索	NVDA+Shift+F3	同じ検索文字列でドキュメントの前方に向かって検索します。
詳細説明を開く	NVDA+D	現在の要素に詳細説明(longdesc属性)があれば、新しいウィンドウを開いて表示します。

1文字ナビゲーション

NVDA+Shift+スペース：現在のドキュメントで1文字ナビゲーションを使用するか使わないかを切り替えます。

以下のキーを単独で押すと次の要素に移動し、Shiftキーを押しながら押すと前の要素に移動します。

名称	キー
見出し	H
リスト	L
リスト項目	I
テーブル	T
リンク	K
リンクのないテキスト	N
フォームフィールド	F
未訪問リンク	U
訪問済みリンク	V
エディットフィールド	E
ボタン	B
チェックボックス	X
コンボボックス	C
ラジオボタン	R
引用	Q
区切り線	S
フレーム	M
画像	G
ランドマーク	D
埋め込みオブジェクト	O
レベル1から6の見出し	1から6
注釈	A

コンテナ要素(内部に要素を含む要素、リストやテーブルなど)の先頭や直後に移動するには：

名称	キー	説明
コンテナの先頭に移動	Shift+カンマ	キャレットがあるコンテナ要素(リストやテーブルなど)の先頭に移動します。
コンテナの直後に移動	カンマ	キャレットがあるコンテナ要素(リストやテーブルなど)の直後の要素に移動します。

テーブル内での移動

名称	キー	説明
前の列に移動	Ctrl+Alt+左矢印	キャレットを同じ行内の前の列に移動します
次の列に移動	Ctrl+Alt+右矢印	キャレットを同じ行内の次の列に移動します
前の行に移動	Ctrl+Alt+上矢印	キャレットを同じ列内の前の行に移動します
次の行に移動	Ctrl+Alt+下矢印	キャレットを同じ列内に留まったまま次の行に移動します

要素リスト

名称	キー	説明
ブラウザモードの要素リスト	NVDA+F7	現在のドキュメント内の要素リストを種別ごとに表示します。

埋め込みオブジェクト

名称	キー	説明
元のブラウザモードのページに移動	NVDA+Ctrl+スペース	現在の埋め込みオブジェクトからフォーカスはずし、埋め込みオブジェクトを含んでいる元のページに移動します。

数式の読み上げ

名称	キー	説明
数式コンテンツの操作	NVDA+Alt+M	数式コンテンツの操作を開始します。

音声設定 (NVDA+Ctrl+V)

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
句読点/記号レベル	NVDA+P	NVDA+P	このオプションでは、句読点及び記号を単語として読み上げる際のレベルを変更できます。

簡単音声設定

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
次の音声設定に移動	NVDA+Ctrl+右矢印	NVDA+Shift+Ctrl+右矢印	現在の項目の次にある音声設定項目に移動します。最後まで移動した場合は最初の設定項目に戻ります。
前の音声設定に移動	NVDA+Ctrl+左矢印	NVDA+Shift+Ctrl+左矢印	現在の項目より前にある音声設定項目に移動します。最初まで移動した場合は最後の設定項目に戻ります。
現在の音声設定を増加	NVDA+Ctrl+上矢印	NVDA+Shift+Ctrl+上矢印	現在アクティブな音声設定の値を増加します。例えば、速さを増加したり、次の音声を選択したり、音量を上げたりします。
現在の音声設定を減少	NVDA+Ctrl+下矢印	NVDA+Shift+Ctrl+下矢印	現在アクティブな音声設定の値を減少します。例えば、速度を減少したり、前の音声を選択したり、音量を下げたりします。

キーボード設定 (NVDA+Ctrl+K)

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
入力文字の読み上げ	NVDA+2	NVDA+2	チェックされている場合、NVDAはキーボードから入力されたすべての文字を読み上げます。
入力単語の読み上げ	NVDA+3	NVDA+3	チェックされている場合、NVDAは入力されたすべての単語を読み上げます。
コマンドキーの読み上げ	NVDA+4	NVDA+4	チェックされている場合、NVDAは文字以外のキーの名称を読み上げます。このキーの名称には、Ctrlキーとその他のキーのようなキーの組み合わせも含まれます。

マウス設定 (NVDA+Ctrl+M)

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
マウスカーソル位置のテキストの報告	NVDA+M	NVDA+M	チェックされている場合、NVDAはスクリーン内での移動に伴ってマウスカーソルが重なったテキストを読み上げます。

レビューカーソル設定

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
フォーカスを追跡	NVDA+7	NVDA+7	チェックされている場合、フォーカス位置が移動したときに、レビューカーソルも現在フォーカスがあるオブジェクトに移動します。
キャレットを追跡	NVDA+6	NVDA+6	チェックされている場合、レビューカーソルは自動的にキャレットが移動した位置へ移動します。

オブジェクト表示設定 (NVDA+Ctrl+O)

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
プログレスバーの報告	NVDA+U	NVDA+U	このオプションはプログレスバーの更新をどのように報告するかを設定します。
動的コンテンツの変化の報告	NVDA+5	NVDA+5	ターミナルやチャットプログラムの履歴など、特定のオブジェクトに対する新しいコンテンツの報告の方法を切り替えます。

ブラウザモード設定 (NVDA+Ctrl+B)

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
画面レイアウトを使用	NVDA+V	NVDA+V	このオプションでは、ブラウザモード内のコンテンツがリンクやその他のフィールドをそれぞれ独立した行として表示するか、画面に表示されているのと同じようにリンクなどをテキストどおりに表示するかを設定できます。チェックされている場合は画面に表示されているのと同じように表現し、チェックなしの場合はフィールドはそれぞれ個別の行として表現されます。

設定の保存と再読込

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
設定の保存	NVDA+Ctrl+C	NVDA+Ctrl+C	現在の設定を保存してNVDA終了後も設定が消えないようにします。
設定を戻す	NVDA+Ctrl+R	NVDA+Ctrl+R	1回押すと前回保存された設定に戻します。3回押すと設定をリセットします。

NVDA+Ctrl+P: 設定プロファイルのダイアログを開きます。

レビューモード

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
次のレビューモード	NVDA+テンキー7	NVDA+PageUp	現在のモードの次の利用可能なレビューモードに切り替えます。
前のレビューモード	NVDA+テンキー1	NVDA+PageDown	現在のモードの前の利用可能なレビューモードに切り替えます。

オブジェクトナビゲーション

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
現在のオブジェクトの報告	NVDA+テンキー5	NVDA+Shift+0	現在のナビゲーターオブジェクトを報告します。2回押すとスペルを報告し、3回押すとオブジェクトの名前と値をクリップボードにコピーします。
親オブジェクトに移動	NVDA+テンキー8	NVDA+Shift+上矢印	現在のナビゲーターオブジェクトの親オブジェクトに移動します。
前のオブジェクトに移動	NVDA+テンキー4	NVDA+Shift+左矢印	現在のナビゲーターオブジェクトの前にあるオブジェクトに移動します。
次のオブジェクトに移動	NVDA+テンキー6	NVDA+Shift+右矢印	現在のナビゲーターオブジェクトの次にあるオブジェクトに移動します。
最初の子オブジェクトに移動	NVDA+テンキー2	NVDA+Shift+下矢印	現在のナビゲーターオブジェクトの最初の子オブジェクトに移動します。
フォーカスのあるオブジェクトに移動	NVDA+テンキーマイナス	NVDA+Backspace	現在フォーカスのあるオブジェクトに移動し、もし表示されている場合はレビューカーソルをキャレット位置へ移動します。
現在のナビゲーターオブジェクトを実行	NVDA+テンキーEnter	NVDA+Enter	現在のナビゲーターオブジェクトを実行します(フォーカスされている時にマウスでクリックしたり、スペースキーを押す動作と同等です)
フォーカスまたはキャレットを現在のレビュー位置に移動	NVDA+Shift+テンキーマイナス	NVDA+Shift+Backspace	1回押された場合はフォーカスを現在のナビゲーターオブジェクトに移動し、2回押された場合はキャレットをレビューカーソル位置に移動します。
レビューカーソルの位置情報の報告	NVDA+テンキーDelete	NVDA+Delete	レビューカーソルのテキストやオブジェクトの位置を報告します。例えばドキュメント全体におけるパーセント表示、ページの端からの距離、画面の中の正確な座標などです。2回押すと詳細な情報を報告します。

マウスカーソルの移動

名称	デスクトップ用キー	ラップトップ用キー	説明
左マウスボタンをクリック	テンキースラッシュ	NVDA+開き角カッコ	左マウスボタンをクリックします。一般的なダブルクリックはこのキーを素早く2回押すことで実行できます。
左マウスボタンロック	Shift+テンキースラッシュ	NVDA+Ctrl+開き角カッコ	左マウスボタンをロックします。もう1回押すとロックを解除します。ドラッグするにはこのキーで左マウスボタンをロックし、マウスを移動するか、マウスカーソル移動用コマンドを実行します。
右マウスボタンをクリック	テンキーアスタリスク	NVDA+閉じ角カッコ	右マウスボタンをクリックします。
右マウスボタンロック	Shift+テンキーアスタリスク	NVDA+Ctrl+閉じ角カッコ	右マウスボタンをロックします。もう1回押すとロックを解除します。ドラッグするにはこのキーで右マウスボタンをロックし、マウスを移動するか、マウスカーソル移動用コマンドを実行します。
マウスカーソルを現在のナビゲーターオブジェクトに移動	NVDA+テンキースラッシュ	NVDA+Shift+M	マウスカーソルを現在のナビゲーターオブジェクト及びレビューカーソルに移動します。
マウスカーソル位置のオブジェクトに移動	NVDA+テンキーアスタリスク	NVDA+Shift+N	ナビゲーターオブジェクトをマウスカーソル位置のオブジェクトに移動します。